

創造

JA いけだ
CREATION



今月号の表紙写真は、役員研修で
JA全農みやぎの「みやぎ総合家畜
市場」を訪問した際の集合写真です。
詳細は2～3ページをご覧ください。

CONTENTS

- * 平成28年度役員研修報告
- * 青年部冬期研修会を開催
- * 21NEWS アラカルト
- * シリーズ 協同組合と報徳
- * 金融共済課より
- * 生産資材課より

- * JAグループ通信
- * 畜産部通信
- * 未来人
- * 今月の1枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2017.

2
FEBRUARY

No.086

平成28年度役員研修報告

信用事業担当理事 折笠大輔

JA全農みやぎ

(1月13日)

県内唯一の家畜市場を運営する、JA全農みやぎを訪れ、県内家畜の商流状況や施設、更に、みやぎ全共の概要について、宮城県北部にある、JA全農みやぎの「みやぎ総合家畜市場」の視察を行いました。

応対者は、JA全農みやぎ畜産部市場流通課上野課長様と、JA全農みやぎ畜産部生産指導課(兼全共宮城大会推進室長)千葉課長様のお二方。以下、概要とご説明受けた内容です。

①宮城県内の家畜流通

状況について

本市場は、平成7年に県内13市場を統合。おおよそ9割の家畜は仙北に集中しているため、県北部美里町に建設されました。

和牛子牛他、乳牛や豚も宮城県家畜商組合との共催でセリを開催、和牛子牛市場にはピーク時年間3万頭

平成28年度の役員研修は平成29年1月11日から14日までの4日間、主要訪問先として2つ、1つ目は青果物(玉ねぎなど)の古くからのお取引先へ役員自らのトップセールス、そして産地と消費地との意見交換や作業場見学を目的に青森県、あすなる青果株式会社へ、2つ目は5年に一度開催される和牛のオリンピックとも言われる、「第11回全国和牛能力共進会宮城大会(みやぎ全共)」の先行視察を兼ね、JA全農みやぎを役員13名にて訪問致しました。折しも研修期間中は北海道から東日本の日本海側を、今シーズン一番の寒波が襲い、青森空港への着陸は困難が予想されましたが、無事到着致しました。

あすなる青果株式会社様

(1月11日)

青森空港よりバスにて、あすなる青果株式会社様を訪れました。平成12年より始まったお取引先で、玉ねぎを中心に販売させていた

だいております。

務様より取引経緯の説明を受け、取引当初は玉ねぎの特に肌(見た目)は決して良好とは言えない状態でしたが、生産者皆さんも研究熱心で、その後の努力もあって良い商品となり扱いも増えていったそうです。そして、池田を訪れた時には生産者皆さんと懇親を重ねる

あすなる青果株式会社様にて玉ねぎ袋詰め作業の見学



うちに人柄にも惚れこんでしまったそうです。その後、各販売担当者より情勢報告があり、最近では天候が本当に読めない、輸送コストが生産される作物を左右するなど、産地と消費地の間に

準とした農産物作りやブランド構築など新たに取り組みを行っていることを伝え、今後とも引き続きお互いに成長できる取引の継続をお願いいたしました。

立つて、様々にご苦労されている事が分かりました。作業場では当JA産玉ねぎを袋詰めする作業を見学しました。販売をする上で、パッケージにも創意工夫され、丁寧に商品が扱われていることも感じ取りました。最後に鈴木組合長からは、日頃のお取引に対し感謝の意とおいしさを基準とした農産物作りやブランド構築など新たに取組みを行っていることを伝え、今後とも引き続きお互いに成長できる取引の継続をお願いいたしました。

上場されていましたが、近年では年間2・4万頭に低下をしています。

県内飼養農家の年齢は60～70歳が中心で、平均飼養頭数は1戸あたり7頭。戸数は減少しているものの1戸あたりの飼養頭数は増頭傾向になっています。また、優良雌牛基礎をつくるため雌牛の導入は、鹿児島・宮崎を中心に、年間300～400頭を導入しております。



みやぎ総合家畜市場

② みやぎ全共
貴肥育へシフトする動きが出てきております。

審査区は、若雌の第1区から去勢肥育の第9区まで480頭の出品を予定しています。審査会場の整備もさることながら、近年の家畜等への伝染病など防疫対策を徹底します。

東日本大震災を受けた宮城ならではのプー



JA全農みやぎにて意見交換会

宮城県の「仙台牛」を生産する肥育農家は800戸と多く、市場上場の去勢の7～8割は県内購買、雌は隣の山形県の購買が多い状況です。

近年では、肥育専門農家が、子牛価格の高騰から、素牛導入コスト抑制のため、経営体

内部で繁殖と肥育を行う「エリア」を設け、支援に対する感謝や、震災の悲惨さや復興への道のりなどをアピールします。

みやぎ全共に向け地元開催の機運にあわせ、上位入賞のため若い生産者の育成に取り組んでいます。また、仙台牛ブランドを維持するために、増頭や戸数を拡大、若い生産者の育成が急務となっています。

また、宮城県の基幹種雄

牛「茂洋」（茂重波系）を基礎とし、茂洋産子の種雄牛をラインナップ、全共出品牛の選抜基準についても、茂洋産子の基幹牛を設定との事でした。



青森「ねぶたの家ワ・ラッセ」にて

研修を終えて

4日間の研修に参加をさせていただき、取引先様、系統職員、それぞれの立場で生産者の手取り（収入）をより多く確保しようと、工夫されていることに対し、改めて強く取り組まなければ

ばならないと考えました。消費者（実需者）へ対してもいかにして満足していただくかも、模索をされていきました。東北は北海道とは隣同士、強力なライバルであり、お互いに切磋琢磨できればと思います。この研修機会を励みに、今後の農協運営や業務に活かしてまいります。

青年部冬期研修会を開催

去る12月8日に農協大会議室で青年部冬期研修会が行われました。その内容は、「ポリシーブック」についてです。

ポリシーブックとは、日頃の問題点を洗い出しその解決策をまとめ、組織・事業の改善を図る「JA青年組織の政策・方針集」です。当青年部も平成24年度より毎年作成しております。

今回の冬期研修ではその問題点の洗い出しを行うべく、参加者を4つの班に分け「これからの池田青年部に必要なこと」をテーマに議論を行いました。日頃の農作業や青年部活動で感じた疑問や問題を各々付箋紙に書き、それを班ごとに模造紙を使用してまとめ、解決策を考え発表を行います。

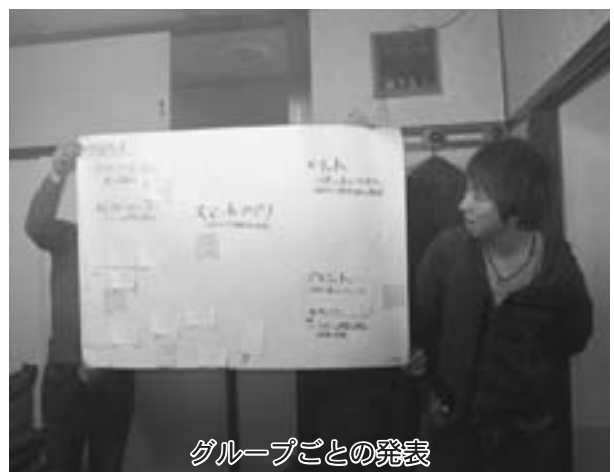
1班は、後継者・部員の減少に着目して「子供が小さいうちから一緒に農作業・食育等を行うことで農業に興味を持ってもらう。農家での実習・研修制度が必要で、農業のPRが必要」。2班は、耕作面積が増加するなか労働力・農家戸数の減少が問題であり、作業効率化・省力化には「ITやGPSを活用したスマートアグリが必要」。ただし導入のタイミングやコストが問題である。3班は、農業技術・知識不足に関して「町内での研修会の必要性や北見・道南への視察。研修先・内容について、役員で決定するのではなく部員に事前アンケートをとってみては」。4班からは、他青年部との交流が少ない。あるとしても役員や地区海外研修参加者等に限定されているので「青年部予算を拡充して、他青年部との研修会を行うべき」と、もっと十勝の中でつながりを広げたいとの意見が出されました。

今回討論会の経験が初めての部員も多い中、開始当初は意見が出ないのではと心配していましたが、1時間半の時間がとても早く感じられ、最後には時間が足りなくなる班もあったほど白熱したものとなりました。また、4班それぞれ特色のある意見となり、部員・青年部ともに大変実りのある研修会となったと思います。

(記事・青年部副部長 十河孝行)



グループワークの様子



グループごとの発表

畜産課

分娩事故ゼロを目指して
ぎゅうおん けい
「牛温恵」を導入

畜産部ではこのたび、「H28畜産・酪農生産力強化対策事業」により、分娩・発情遠隔監視システム「牛温恵」を導入。現在、4戸の和牛繁殖農家の皆様が設置・活用しています。

この機器の特徴は、分娩が近い繁殖牛の体内にセンサーを入れることで、5分おきにスマホやPCで体温変化を監視できることにあります。また、分娩約24時間前の体温変化を感知し「段取り通報」を、一次破水の際には「駆け付け通報」を携帯電話やスマホにメールで知らせてくれます。

これにより、余裕を持って出産に立ち会うことが可能となり、分娩時事故や発見遅れが減少するとともに、日々の夜回りや外出の規制が緩和されるなど、労働負担の軽減も期待されます。

「牛温恵」を設置された宮前裕治さん（青山）は、「和牛は分娩予定日が1週間以上も遅れることが多く、メールでの通知で事前準備が出来ることは、精神的にも肉体的にも非常にありがたい」と、話してくれました。

（記事・畜産部畜産課 米川 武）

牛舎に設置された機器がN T Tドコモのネットワークを介して体温を遠隔監視します



慰労会の様子



施設課

季節従業員
慰労会の開催

農産センターにて青果物の選果や豆類の手選を行って頂いておりますパート職員を対象とした慰労会を十勝川温泉観月苑にて1月14日～15日にかけて開催致しました。販売のオーダーが集まる年末を避けまして、この時期に

行っております。

当日は43名の方々に出席して頂きまして、鈴木組合長のご挨拶で開催し、ホテル宿泊ペアチケットをかけたのビンゴ大会やカラオケデュエットなどで大変盛り上がり、日頃の疲れを癒し楽しんで頂けたかと思います。

パート職皆さんの力があってこそ成り立つ農産センターでありますので、今後も常に感謝の気持ちを忘れずに、そして事故の無い安全で安心して働ける職場づくりに努めて参りたいと思います。

（記事・農産部施設課 佐藤尚弘）

畜産課

酪農振興会
研修会

酪農振興会では、12月21日に平成28年産飼料用とうもろこしの傾向と今後の対策と題し、普及センター三宅普及員を講師に研修会を開催しました。

昨年の台風によりデントコーンは、多くの圃場で倒伏が発生し品質低下及び減収の影響が予想され、飼料分析を活用しながらの適切な飼料給与の徹底や品質維持への作業方法など注意すべき点を学びました。参加者は乳量乳質維持へ、対応策を改めて確認することが出来ました。（記事・畜産課長 梶木和也）



研修の様子

地域コミュニティの

復興は報徳仕法で

総合協同組合として地域コミュニティを守る使命を、どのように果たせば良いのでしょうか。

幕末封建制の末期、疲弊する農民を復興するため活躍したのが報徳思想の父である二宮尊徳翁です。幕藩体制の中で、貨幣経済の浸透は農村部にも及び、年貢徴収の強化と相まって農民の暮らしは劣悪な状況にありました。農村からは飢饉や重税に苦しんだ農民の逃散が続く、農業生産力は低下の一途を辿りました。桜町領も例外ではありませんでした。尊徳翁は荒廃

した桜町の復興を託されたのですが、最初に手がけたのが村落共同体の再建でした。領主である宇津家（小田原藩の分藩）に分度を守ることを約束させ、農民負担を軽減して生産意欲を高めるとともに、北陸からの移民の受け入れをはじめ、村落施設の改善や共同体による相互扶助の取り組を助長するなど、村落共同体の機能を活性化しました。現代も農漁村からの人口流出が続いており、まさに江戸末期と同じ状況が出現している、と指摘したのは報徳研究者である東大名誉

教授の神谷慶治氏です。

地域コミュニティの担い手減少や、「今だけ金だけ自分だけ」の新自由主義（東大鈴木宣弘教授）的な価値観の氾濫など、地域コミュニティは新たな課題に直面しています。この状況を改善するためには、かつて農村共同体の復興に成功に導いた尊徳翁の報徳仕法を、地域コミュニティの実情にそって現代化することが必要です。小林篤一翁や黒澤西蔵翁、安藤孝俊翁が、戦後の協同組合に持ち込んだ報徳の精神を伝えることが再び求められています。

北海道報徳情報

報徳生活読本より

シリーズ
協同組合と報徳

No.29

金融共済課より

就職、進学を迎えられるお子さまへ

家庭環境が変わる春のシーズン、お子様が自動車運転免許を取得された場合には、現在加入されている自動車共済の「運転者の年齢条件」をご確認ください。この年齢条件に満たない年齢のお子さまが運転されて事故を起こされると、共済金をお支払いできません。



また、お子さまが自分専用の車に新たに自動車共済を加入する際、親の現契約を子に譲渡し、親が新規加入すると共済掛金を抑えることが出来ます。なお、親子間での等級譲渡は「同居の場合」のみに限定されますので、お子さまが進学等で親と住所が変わる場合は、その前に譲渡を済ませてください。

変更手続き、ご相談については本所金融共済課、または池田支所までお申し付けください。

金融窓口対応コンテストを開催

平成28年12月12日（月）、金融部窓口職員6名による「窓口対応コンテスト」を北海道信連帯広支所にご協力を頂き開催致しました。

本コンテストは、窓口における接客力の向上を目的として、今回初めて開催されたものです。課題は「年金推進」・「純新規推進」の2部門とし、競技時間は7分間を目安として行われました。鈴木組合長、大塚常務、折笠部長、北海道信連吉原支所長、浦川次長に審査員を務めて頂き、審査の結果、最優秀賞に遠藤由梨職員、優秀賞に吉田美幸職員が輝きました。本コンテストで得た経験を活かし、より安心感を与える丁寧な対応を金融窓口職員一同おこなってまいります。



最優秀賞：遠藤由梨職員



優秀賞：吉田美幸職員

金融共済課よい

JAの
自動車共済
加入者向け突然の「事故」や「故障」など緊急時に
心強いスマホアプリが新登場!!JA共済
くるまのミカタ

お車のトラブル時にアプリを利用すれば受付窓口へのスムーズな連絡が可能です。

1 レッカー・ロードサービスの要請 受付窓口 JA共済サポートセンター

3
つ
の
特
長

- ① GPS機能で位置情報を送信することができます!
 - ② トラブル状況の画像を送信することができます!
 - ③ お車情報を自動送信します! ※ご利用時に事前登録がされていないと、お車情報はJA共済サポートセンターに通知されません。
- ➡ 必要な情報をJA共済サポートセンターに送信でき、迅速にレッカー・ロードサービスを受けられます!



2 事故受付 受付窓口 JA共済事故受付センター

位置情報を確認することができます!

- ➡ 確認された位置情報をJA共済事故受付センターへお伝えいただくことで、事故受付がスムーズになります。

※JA共済事故受付センターへ電話発信する場合は、位置情報は送信されません(アプリ画面にて位置情報を確認することが可能です)。
また、JA共済事故受付センターにトラブル状況の画像を送信することはできません。

事故や故障が発生した際には、JA共済サポートセンターまたはJA共済事故受付センターの専門スタッフがいつでも(24時間365日)対応いたします。ぜひ、お持ちのスマートフォンにアプリをご準備ください。

※アプリご利用時の通話料は、ご利用者様のご負担となります。

こんな時に使える! 「くるまのミカタ」の活用 (例)レッカー・ロードサービスの要請

突然の「事故」や「故障」
で車が動かない...あわてず「くるまのミカタ」を利用して
JA共済サポートセンターへ連絡!

※トラブル画像の送信有無はご利用者様に選択いただけます。

※ご利用時に事前登録がされていないと、お車情報はJA共済サポートセンターに通知されません。



ご利用前の事前登録もカンタンです！



ご利用前にお車情報をご登録ください！
お車情報は最大で3台ご登録いただけます。

お車情報

- ナンバー
- 車名
- 車の色

ダウンロードと設定・登録について

無料でダウンロード
できます。

1 まずはアプリのダウンロード

App Store、Google Play
からアプリを
ダウンロードします。



本チラシ下部のQRコードから簡単に
ダウンロードできます。

- ※アプリご利用時の通信料はご利用
者様のご負担となります。
- ※iPhone、iPad、App Storeは米国
及び他の国々で登録されたApple
Inc.の商標です。
- ※[Android][Google Play]は
Google Inc.の商標または登録
商標です。

2 アプリを 起動します

利用規約に同意



3 GPS機能を オンにします

GPS機能
の利用許可



4 登録画面で 必要な項目 を入力

ナンバーなどを入力



さらにはこんな機能も！



駐車場マーキング

郊外のショッピングモールなど
広い駐車場に車を停めたとき
に、自分の車の位置をマーキ
ングできます。これを使えばも
う迷うことはありません！

■ ご注意事項

交通事情、気象状況等により、対応業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご
提供ができない場合があります。ご利用者様のご契約内容・トラブル状況によっては、
サービスの一部または全部が提供できない場合があります。ご利用者様のお使いの
機種および設定によっては、位置情報が必要とするサービスをご利用いただけない場合
があります。アプリで提供されるGPSによる測位結果の位置情報は、利用環境やGPS
衛星の電波状況により、位置が表示されない場合または実際の位置と誤差が生じる
場合があります。詳細はアプリ内の「JA共済くまのミカタ」利用規約をご確認ください。

- ※このチラシは「JA共済くまのミカタ」の概要を説明したものです。詳細につきましては、お近くのJAにお問い合わせください。
- ※本アプリはスマートフォン向けとなっております。フィーチャーフォンの場合はご利用いただけません。
- ※本アプリは「JA共済の自動車共済」に加入されている方向けに無料提供されるものです。
- ※このチラシに記載している画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。

＜アプリダウンロードはコチラから＞



くるまのミカタ

検索

お問い合わせは

J A 十 勝 池 田 町

本 所 ☎ 5 7 2 - 3 1 3 1

支 所 ☎ 5 7 2 - 3 1 3 2

生産資材課より

平成29年度農薬取りまとめ 全品目10%値引きにて実施中!

日頃より、生産資材課事業の運営にご協力頂き、誠にありがとうございます。

生産資材課では現在平成29年度早期農薬取りまとめを実施中ですが、昨年度に引き続き購買事業の基本であるコスト削減に向けた低価格での供給に重点をおき、より一層充実した取りまとめを実現する為に、農薬取りまとめ価格を全品目10%値引きにて実施しております。



組合員皆さまの農薬コスト削減のためにも、是非取りまとめをご利用いただきますようお願いいたします。

1. 取りまとめ品

平成29年度 農薬

2. 申し込み期限

平成29年2月18日（土）

3. 取りまとめ価格

全品目、当用期価格より10%値引き

4. 価格動向

国内需要が停滞している中、安全性確保のための規制強化により登録維持費が増大。副原料の一部が値上げ傾向にあります。一部の主要薬剤や大型規格、乳剤、銅剤が値下げとなり、大半の品目は据え置き。加重平均で▲0.7%の値下げとなりました。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

平成28年12月に、11月の「農協改革」を巡る一連の経過について、「クミカン制度」を中心に整理した組合員向け資料「ここだけは知っておきたい『農協改革』～クミカン制度は維持されました～」を作成しました。

本資料は農協に改革を迫る議論の背景や、存続が決まったものの一時は廃止が提言された「クミカン制度」の重要性を、対話形式で表現しております。



JA北海道信連

JAバンクを多くの人に知ってもらうため、昨年11月に札幌駅前地下歩行空間でPRイベントを行いました。

「ドローン貯キャンペーン」の宣伝や、ちょリスによる「旗揚げゲーム」、コンサドーレの堀米選手・福森選手のトークショー、両選手サイン入りJAバンクグッズの当たる「じゃんけん大会」を実施しました。JAさっぽろの「ローン相談コーナー」も設置し、JAバンクを広くPRできました。



ホ ク レ ン

LINE@等を活用した生産者向け情報発信サービス「ホクレンインフォメーション」は、生産者の皆様に向けたイベントや新商品情報、生産資材（飼料や農薬等）価格、乳価等の営農情報をタイムリーに発信しています。

今後は市況情報やAコープのキャンペーン情報の発信も予定。生産者の皆様に役立つ情報を発信して参ります。お手持ちのスマートフォンやPC（<http://hokuren-news.jp/>）からご登録ください。



登録はこちら↑

JA共済連北海道

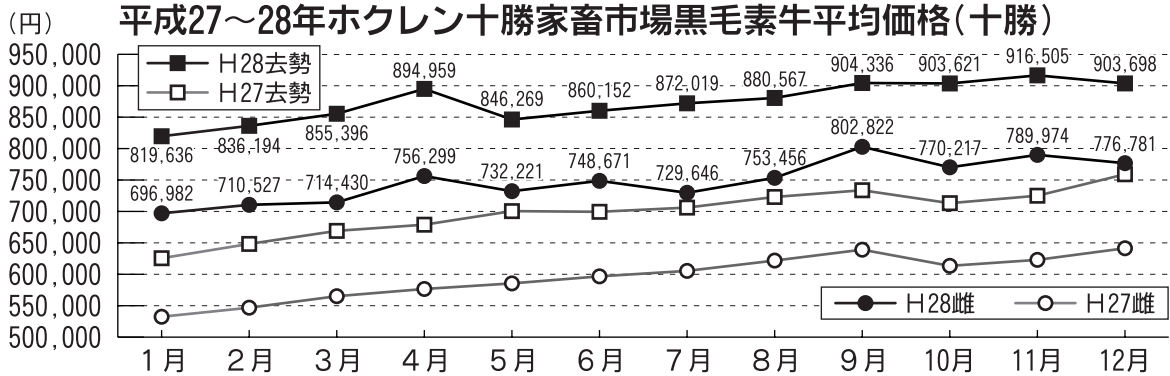
住宅等の建物修理で、共済（保険）請求を悪用したトラブルが全国で多発、消費者相談センター等へ相談が増えていますので十分にご注意ください。

不正修理業者が自然災害事故を装い「共済金（保険金）が出るので自己負担無しで修理ができる」という内容で高額な見積り金額の契約を交わし、解約すると高額な違約金を請求されることがあります。トラブル防止のためには、建物関係の事故が発生した場合、まずご加入先のJAへお問合せください。





畜産部
畜産課

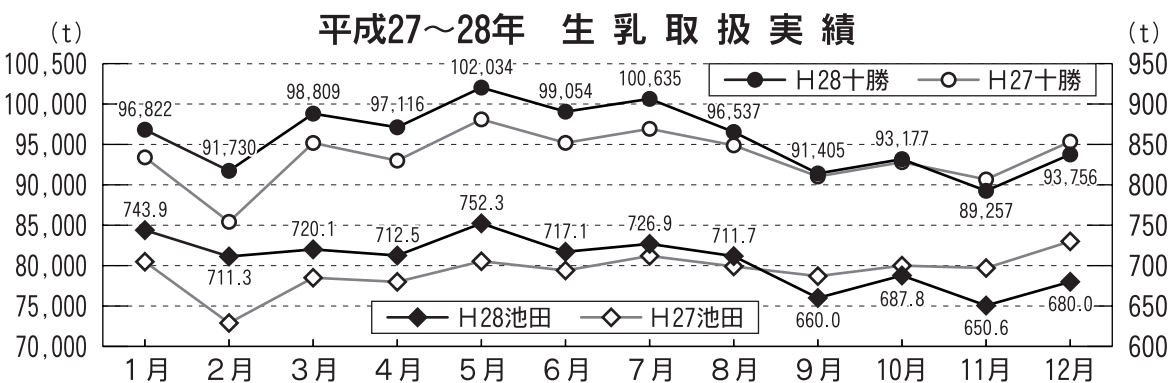


【金額(円)】

			取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	十勝	和牛素牛	823	903,698	
		マニュアル参加牛	559	913,690	67.9
		マニュアル認定牛	91	984,272	16.3
	池田	和牛素牛	61	909,696	
		マニュアル参加牛	53	902,635	86.9
		マニュアル認定牛	11	926,051	20.8
雌	十勝	和牛素牛	504	776,781	
		マニュアル参加牛	349	775,895	69.2
		マニュアル認定牛	24	865,080	6.9
	池田	和牛素牛	30	754,560	
		マニュアル参加牛	30	754,560	100.0
		マニュアル認定牛	2	770,040	6.7

【金額(円)】

開催日	区 分	取引頭数	平均価格(税込)
3 日 10日	黒毛去勢	A－5	2,566
		A－4	2,457
		A－3	2,234
	黒毛メス	A－5	2,718
		A－4	2,482
		A－3	2,358
	F 1 去勢	B－3	1,560
		B－2	1,269
	F 1 メス	B－3	1,565
B－2		1,272	



【金額(円)】

開催日	区 分	取引頭数	平均価格(税込)
1 日	乳 牛 育 成	553	522,298
20日	乳 牛 初 妊	738	990,098
21日	乳 牛 経 産	108	550,490

【金額(円)】

区 分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	87,026
F1オス初生	293,001
F1メス初生	187,520
廃用牛	170.871



川合地区

たけ ち のぶ ひと
武 智 宣 仁 さん
 (29歳)



プロフィール

家族は妻・綾さん、長男・慶人君の3人家族。父・唯浩さん、母・富子さん、妻・綾さんの4人で畑作を営む。

今年で就農10年目。

宣 仁さんは小学生の頃に
 はスケート少年団、中学生の頃にはバスケット部・陸上部、高校生の頃にはサッカー部に所属していた。そんなスポーツ好きな宣仁さんの影響もあってか、現在小学3年生の長男・慶人君もスケート少年団に入っており、スケート楽しいですか？との問いに、「楽しいです！」と笑顔を見せてくれた。

士 幌高校を卒業後、士幌高校農業特別専攻科へ進学したのち就農。「兄弟は妹が一人いて、後を継ぐのは自分しかない。」と考え、中学2年生の時には将来は農家を継ぐと決めていたと話す。

農業という仕事についてお話を聞くと、「一般的な会社と違い、自分の考えているように仕事をする事ができる。自分が頑張れば頑張るだけ結果として返ってくる点が農業の魅力の1つである。」と答えてくれた。

宣 仁さんの家ではメイクインを10町近く作付している。馬鈴薯は細菌の影響を受けやすく、すぐに広まってしまうので、「まめに圃場を観察して異常がないか確認すること、防除体系をしっかりとすること。」を意識して管理しているという。しかし、昨年は連続した台風の影響で防除体系が崩れてしまい、「大変な1年だった。」と振り返る。

青 年部活動については、「去年行った積み立て研修が楽しかった。東京・熊本に研修に行き、とても楽しく、経験がないことばかりで勉強になった。」と話す。

休日には子供と遊んでいるという宣仁さん。20歳で父となり、「初めは自分に父親が務まるか不安もあった。」と話す。「今もちゃんとできているのかわからないですけどね。」と笑う。

最 後に今年の意気込みを聞くと、「今年もやるべきことをしっかりとこなし、品質の良いものを多く収穫したい！」と力強く話してくれた。



理事会の動き

第 11 回

〈平成29年 1月25日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合財務の現況について
- (2) 12月末基準決算見込みに
ついて
- (3) 平成28年末組勘整理実績
について
- (4) 特定組合員の年末整理状
況及び負債残高について
- (5) 共計品の精算について
- (6) 平成29年産農作物の作付
予定面積の集計結果につい
て
- (7) 労働災害事故報告につい
て

★ 議 案 ★

- (1) 組合員の相続による出資
金持分譲渡並びに新規加入
承認願いについて
- (2) 自治監査結果の報告につ
いて
- (3) 平成29年行動計画につい
て
- (4) 平成29年度各種事業に対
する利用料金料率の設定に
ついて
- (5) 地区懇談会の開催につい
て
- (6) 員外監事候補者の選出に
ついて
- (7) 今後の災害資金への対応
について

今月の1枚



食品加工サークル例会

今月の1枚は1月24日（火）に行われ
た、食品加工サークル例会での1枚です。

ネバリスターを使った長いも団子・か
ほちゃ団子のお汁粉・甘じょっぱいワレ
のじゃがいも団子と3種類の団子を作り
ました。



平成29年となり早くも1か月が過
ぎました。皆様いかがお過ごしでし
ょうか。

今年は野球の世界大会WBCが開
催されます。野球好きの私としては、
とても楽しみにしているイベントで
す。前回大会では日本が準決勝でプ
エルトリコに負け、3連覇を達成す
ることができませんでした。今大会
では是非とも優勝してもらいた
いです！

2月はインフルエンザが最も流行
する時期ですので、体調管理には気
を付けてお過ごしください。(杉山)